

Test Report

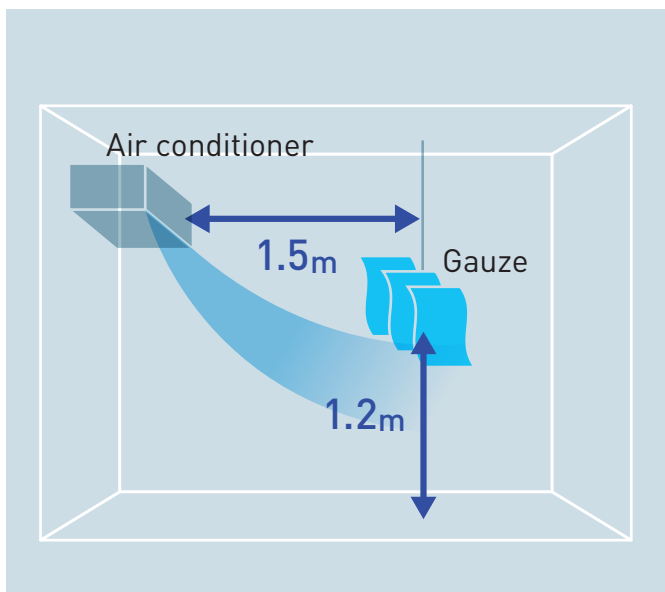
An air conditioner equipped with nanoe™ X inhibits activity of adhered Cladsporium in 2 hours

Test outline

- (1) Testing organisation: Kaken Test Center
- (2) Test subject: Adhered NBRC 6348: Cladosporium sphaerospermum
- (3) Test volume: Approx. 30 m³ laboratory (3.9×3.5×2.2m)
- (4) Test result: Inhibited in 2 hours
- (5) Report No.: KT-21-003341-4

Test ambient

Approx. 30 m³



Test result

Cladsporium



試験報告書

依頼者 パナソニック 株式会社 殿
品 名 CS-X400D2-W
試験項目 空間付着カビ試験(クロカビ)

2021年 5月14日付けで当所に提出
された試料の試験結果は下記のとおりです。

2021年 6月 8日

カケン

〒604-8431 京都市中京区西ノ京原町 67 番地 1

一般財団法人

カケンテストセンター
京都検査所

Tel (075)-802-7272 Fax (075)-802-7282

記

1. 試験方法

1-1. 引用規格

試験方法：日本電機工業会 JEM1467 家庭用空気清浄機

附属書 E 室内付着ウイルスに対する抑制性能評価試験 準用

評価方法：JIS Z 2911 カビ抵抗性試験方法

1-2. 試験手順

(1) カビ孢子溶液接種前の滅菌ガーゼ (No. 7161、川本産業(株)) を、提示のエアコンを設置した無菌状態の環境実験室内に吊り下げた。エアコンは壁面に沿って床から 1.8m の高さに取り付け、その送風口から約 1.5 m 前方、床上約 1.2 m の位置に滅菌ガーゼを滅菌済みのクリップを用いて固定した (図 1)。

(2) マイクロピペットを使用し、滅菌ガーゼ全体に均一となるようにカビ孢子溶液を滴下した。試験区はエアコンからの送風が直接当たる方を接種面とし、接種量は 2mL、サンプル数は 3 とした。

ブランク (エアコン暴露しない) については、滅菌シャーレ内に設置した滅菌ガーゼ表面に前述と同様の方法で孢子溶液を滴下し、試験区と同様の温湿度に設定した別の環境実験室内の安全キャビネットの中でシャーレのフタを開けた状態で静置した (図 2)。

また、孢子溶液滴下直後にシャーレを密閉して回収したガーゼをブランク 0 時間とした。

(3) エアコンを稼働させ、所定時間エアコン暴露を行った。

(4) 暴露開始後、試験区とブランクのガーゼを 1、2、4 時間後にそれぞれ滅菌シャーレに回収した。

(5) 回収したガーゼを同日中に培養場所まで輸送し、培養した。輸送時は、ガーゼを入れた滅菌シャーレをパラフィルムで密閉した状態で発泡スチロール容器に入れて乾燥しないように留意した。

(6) 培養開始から 2、3 日後のガーゼ上のカビの生育を観察し、表 1 に従って 3 段階で評価した。